



NIPPON PAPER
GROUP

当面の経営課題と取組み

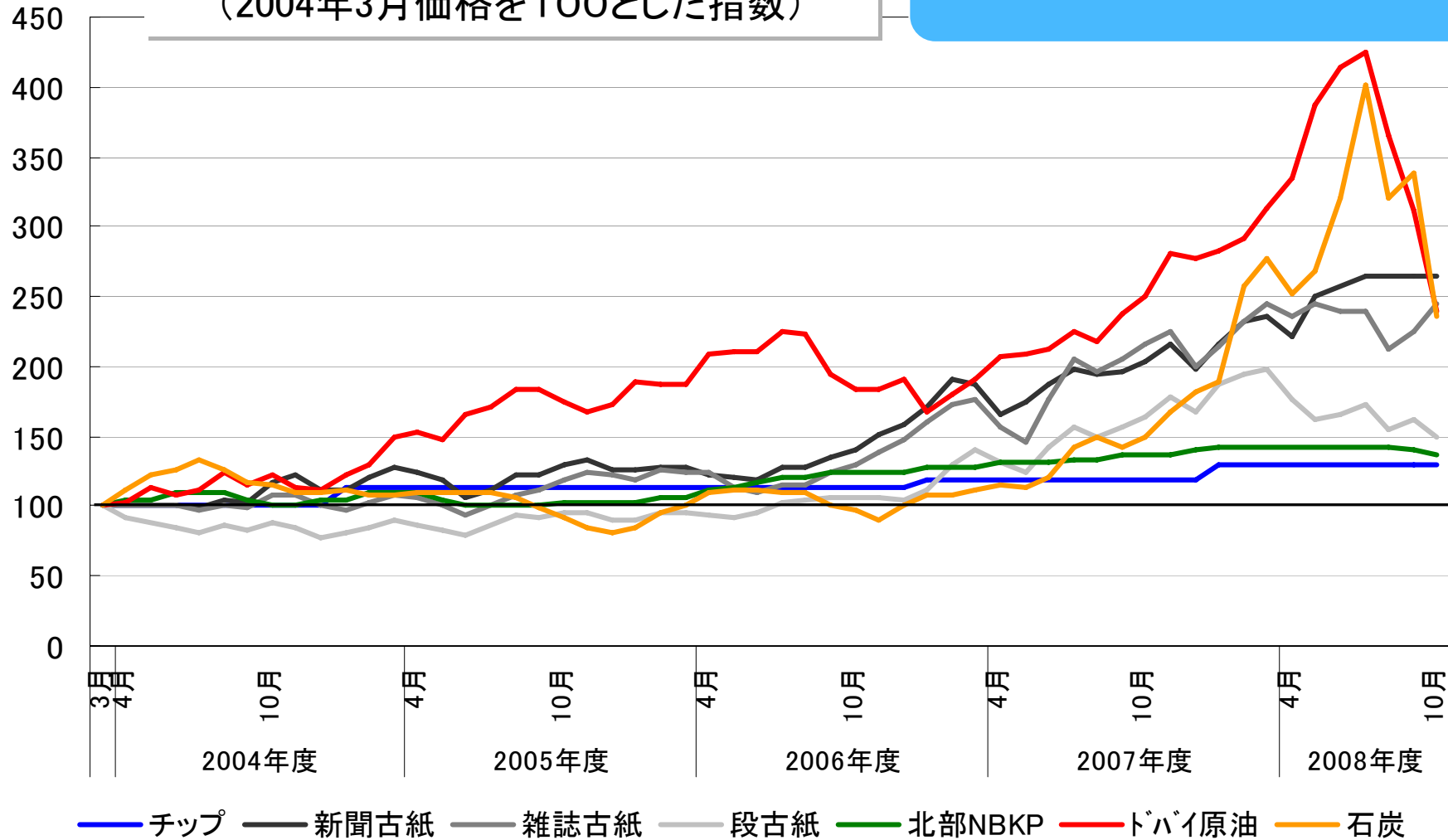
2008年11月10日
決算・経営説明会

株式会社 日本製紙グループ本社

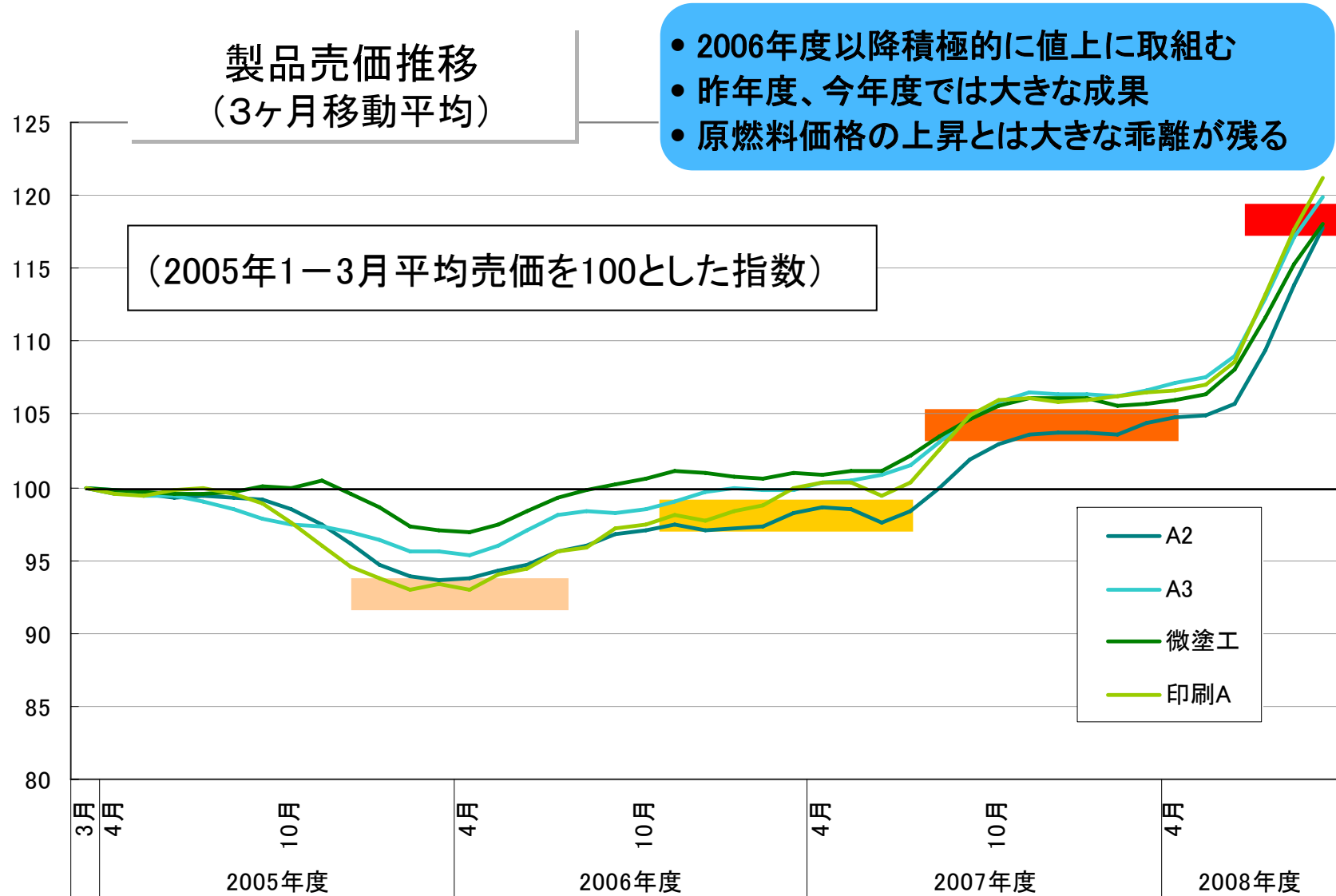
- 経営環境と市況維持
- 今後の見通し
 - 新ボイラー設置効果
 - 洋紙生産体制再構築
- 海外提携プロジェクト
 - 永豊餘造紙
 - SCGペーパー
- 木材資源確保
- まとめ

原燃料価格推移
(2004年3月価格を100とした指数)

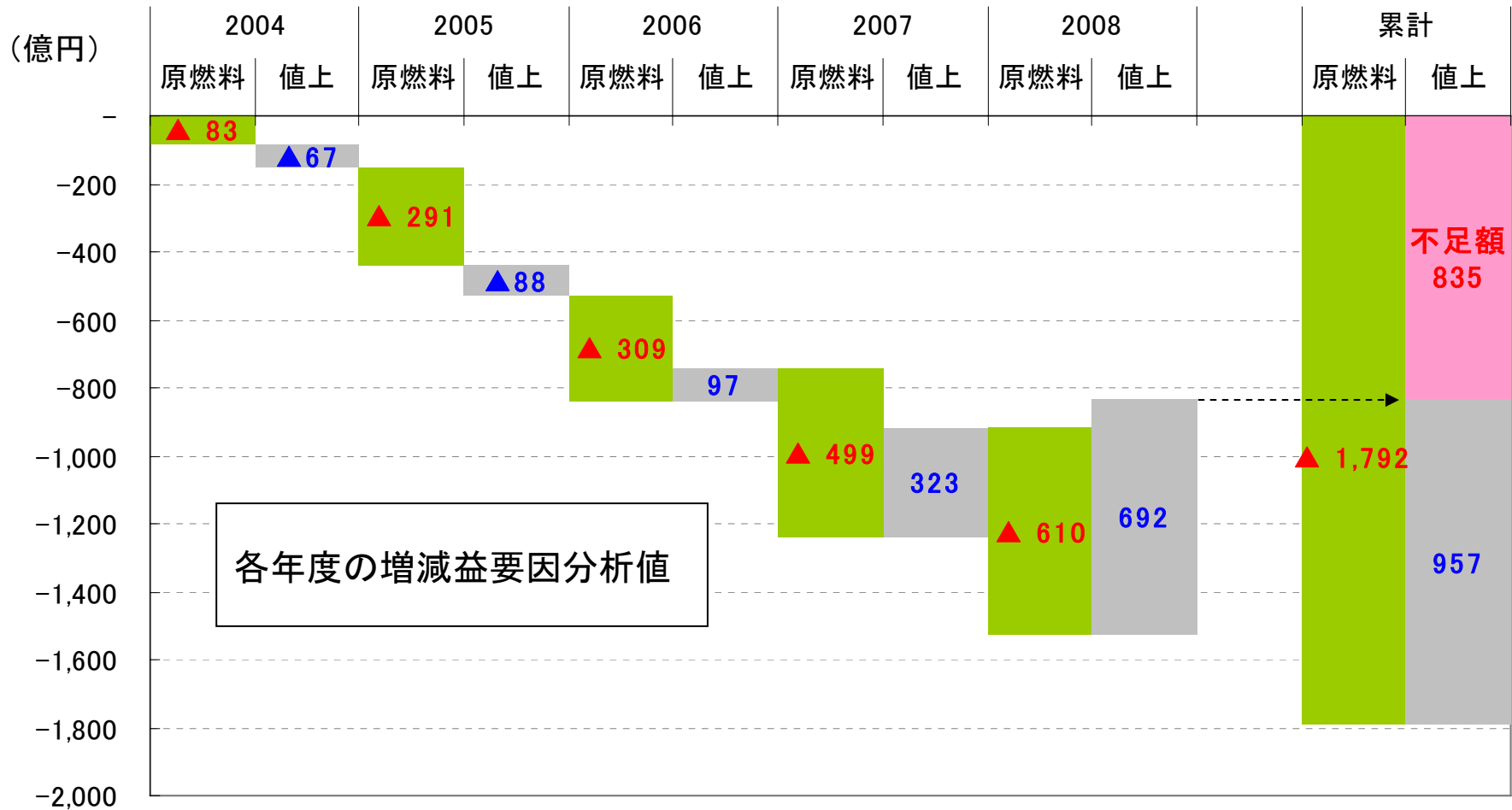
● 足元で騰勢に変化も依然高水準



経営環境と市況維持

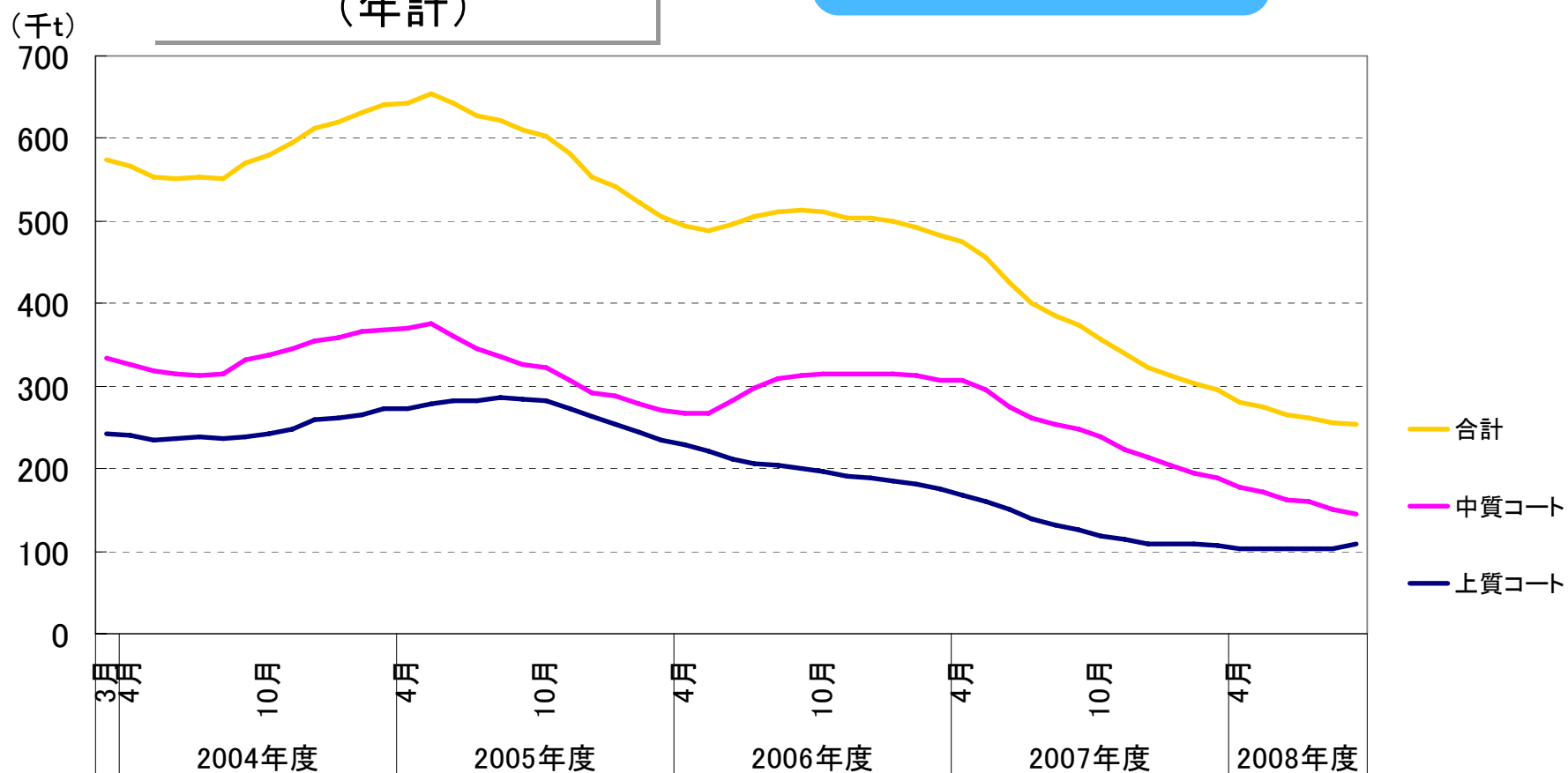


原燃料コスト上昇と価格転嫁の進捗



塗工紙の輸入数量推移 (年計)

● 減少傾向は続いている。



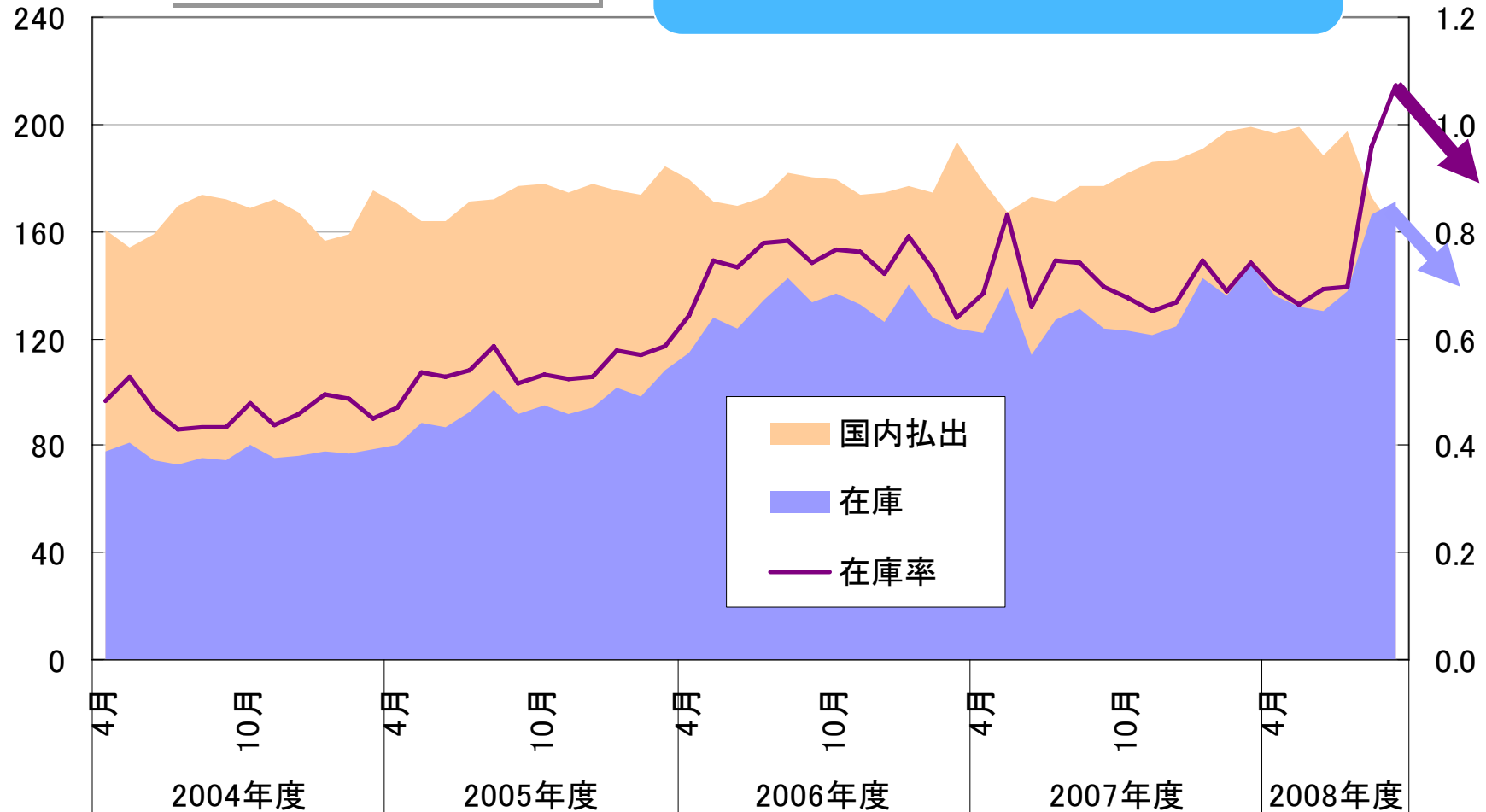


在庫数量
(千t)

主要4品種在庫推移

● 年末までに在庫の適正化を図る。

在庫月数
(ヶ月)



主要4品種=A2コート、A3コート、微塗工、印刷用紙A

- 主要品種の流通在庫調整が喫緊の課題

- 10－12月で大幅減産実施

品種	対前年
● A2	▲5万t
● A3	▲7万t
● 微塗工	▲2万t
● 印刷用紙A	▲数千t
計	▲14万t

● 市況維持を最優先

- 1－3月も需要動向を見ながら前倒し対応

- 需要動向：不透明 — 景気動向の慎重な見極めが必要
- 原燃料価格：不透明 — 薬品類は依然上昇基調
- コストダウン：大幅減産はあるが計画達成に注力
 - 新ボイラー設置効果発現
 - 洋紙生産体制再構築



●新ボイラー設置状況

運転開始年月	会社	工場	種別	蒸気量 t/h	重油削減 千kl	投資額 億円
2004/ 9	日本	勿来	バイオマス	105	19	39
2006/10	日本	石巻	バイオマス	180	55	53
2007/10	日本	富士	バイオマス	230	103	64
2008/ 1	日本	岩沼	新エネルギー	230	87	115
2008/ 2	日本	岩国	バイオマス	180	86	101
2008/ 4	日大板	吉永	新エネルギー	180	93	67
2008/ 4	日大板	秋田	石炭	180	75	59
2008/ 8	日本	白老	新エネルギー	280	56	90
2008/ 8	ケミカル	江津	微粉炭	105	43	53
2008/ 9	日本	旭川	バイオマス	170	5	69
2009/ 5	日大板	大竹	石炭	260	114	112
2004-2009計					736	821
検討中	日本	岩国Ⅱ	新エネルギー	260		

稼働済



2008年度
効果発現見込み※
(億円)

上期 51

下期 42

通期 93

※原価改善効果に織込み済み



- 9月30日 3事業所での紙事業撤退を完了
 - 日本製紙 伏木工場 閉鎖
 - // 小松島工場 紙事業撤退
 - 日本大昭和板紙 大竹工場和木事業所 閉鎖

● 3事業所従業員の進路

配置転換	退職	合計
228	121	349人

※ (参考) 昨年10月29日説明会での公表値
正規220+請負出向等130名=合計350人⇒正規人員として措置

今後の見通し — 洋紙生産体制再構築



• 比例費影響 ▲ 1億円
生産集約効果 +38億円
削減影響 ▲39億円

• 固定費削減 +38億円
償却費減 +16億円
投資影響 ▲ 4億円
修繕費・経費等 +26億円

+37億円

+

• 労務費削減 +19億円

上記は当初計画値

- 概ね当初計画並みの効果を見込む
- 今下期以降徐々に発現

コストメリット
+56億円

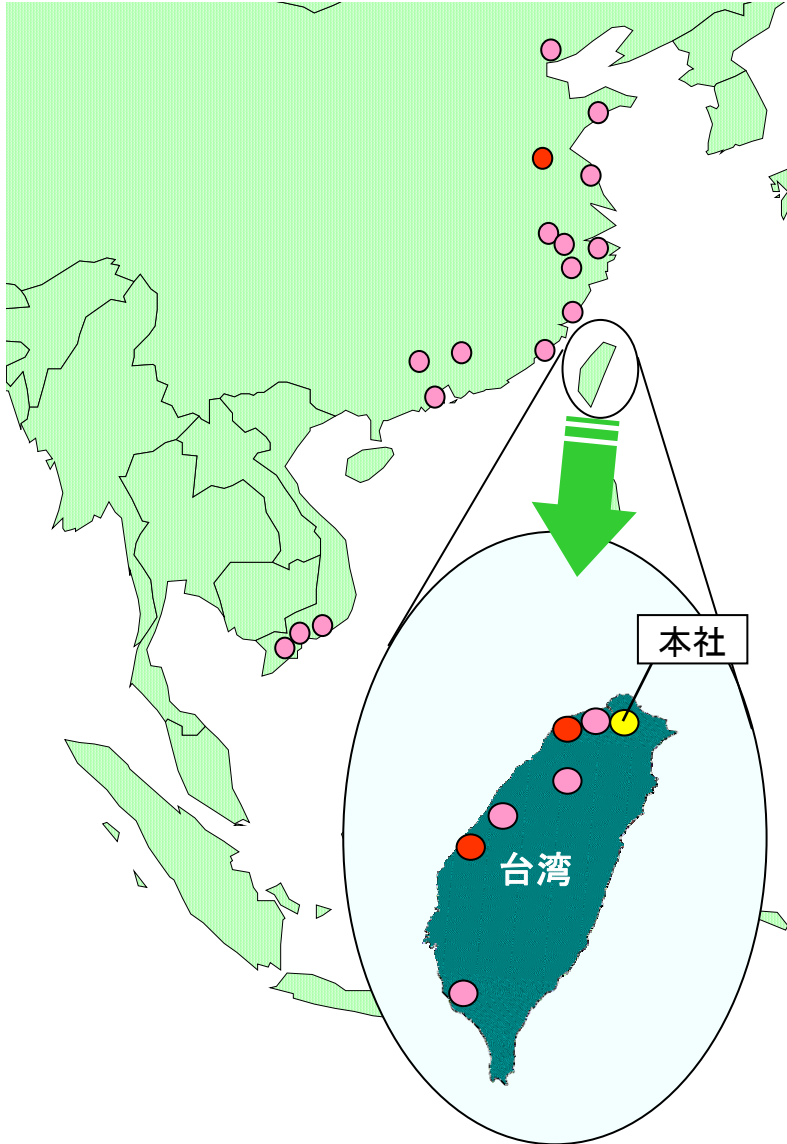
一時損失

昨期 ▲98億円
今期 ▲31億円

- 永豊餘造紙(台湾)
 - 台湾で最大の紙パメーカー
 - 紙・板紙生産量：190万t／年
 - 中華圏での強力な足がかり
 - 提携覚書調印：2007年11月21日
 - 戦略的業務提携覚書調印：2008年10月23日



- 板紙分野への出資・参画を決定
- 経営基盤強化と拡大を推進



● 生産拠点

● 製紙工場

国名	中国	台湾	
工場名	揚州	新屋	成功

● 製函工場

国名	中国											
工場名	天津	青島	昆山	南京	蘇州	嘉興	上海	福州	廈門	東莞	広州	中山

国名	ベトナム			台湾			
工場名	Don Nai	Binh Tan	Long An	桃園	竹南	彰化	高雄

● パッケージング部門

- 製紙 3拠点
- 製函 19拠点



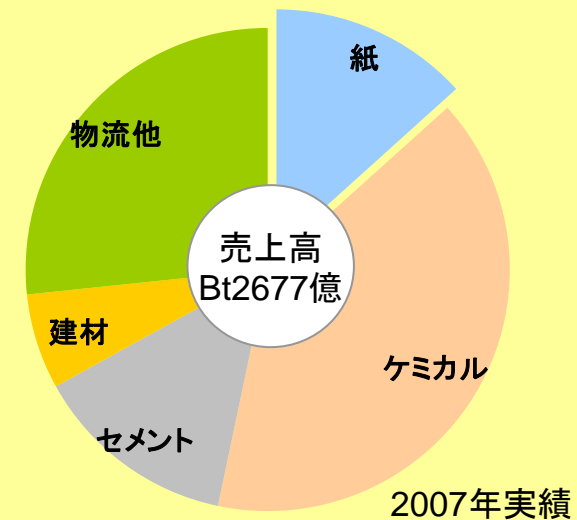
●SCGペーパー(タイ)

- サイアムセメントグループの紙パ部門
- タイで最大の紙パメーカー
- 紙・板紙生産量:270万t/年
- ASEANに於けるリーディングカンパニー
- 提携合意:2008年2月

●業務提携委員会で提携の具体化を推進中

- 新規事業
- 技術協力
- 販売協力

●SCG グループの事業構成

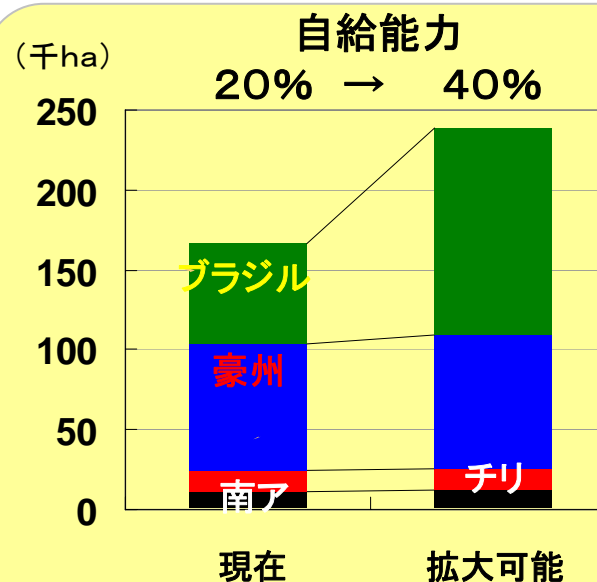


● TreeFarm～海外植林地の拡大

- 昨年度末で16.6万ha
- 2015年までに20万ha
- 長期目標として30万haを目指す

● 長期的視点で資源確保に取り組む

現有植林地拡大 16.6万→23.6万ha



南アフリカ
FSC
1.2万ha
(アカシア他)

豪州
AFS
7.8万ha
(ユーカリ)

チリ
CertforChile
1.4万ha
(ユーカリ)

ブラジル
FSC
2008年取得予定
6.2万ha
+7万ha植林地余地
(ユーカリ)

長期的経営方針

**ビジョンは不変
海外展開を着実に進める**

喫緊の経営課題

- **市況維持**
 - 製品在庫圧縮
- **資金管理の強化**
 - 棚卸資産圧縮
 - 不急の投資は抑制

- 本資料には、会社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定は不正確であることがあり得ます。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります
- また、本資料はいかなる有価証券の申込みもしくは購入の案内、あるいは勧誘を含むものではなく、本資料および本資料に含まれる内容のいずれも、いかなる契約、義務の根拠となり得るものではありません